

都市再生整備計画(第1回変更)

もみじヶ丘・杜の丘地区

みやぎけん たいわちよう
宮城県 大和町

平成29年10月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1【町民同士の交流促進とコミュニティ活動の活発化を図るための拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで、多様な年代の町民が集え、町民同士の交流や様々なコミュニティ活動の拠点となる施設を整備する。 	<p>【基幹事業】高次都市施設：(仮称)南部コミュニティセンター整備事業</p>
<p>・整備方針2【子どもから高齢者までの誰もが安心して暮らせる住環境の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者も安心して外出できるよう歩道の歩行スペースの拡幅整備を行う。 子どもや保護者が安心して遊べるよう公園広場の拡充と子どもの年代に応じた遊具類を設置する。 子育て世代の増加に伴う子育て支援ニーズに対応するため、児童館(学童保育施設)、保育所を整備する。 もみじヶ丘、杜の丘間の日常的なアクセス性の向上を図るため、園路及びスロープを整備する。 もみじヶ丘歩道橋の耐震補強を行うとともに歩行者と自転車のスムーズな交差が行えるよう拡幅整備を行う。 	<p>【基幹事業】道路：もみじヶ丘歩道橋整備事業 【基幹事業】公園：杜の丘1号公園整備事業 【基幹事業】公園：杜の丘2号公園整備事業 【基幹事業】公園：杜の丘3号公園整備事業 【基幹事業】公園：杜の丘4号公園整備事業 【基幹事業】高質空間形成施設：もみじヶ丘7号緑地整備事業 【提案事業】地域創造支援事業：児童館整備事業 【提案事業】事業活用調査：事業効果分析調査 【提案事業】まちづくり活動推進事業：公園整備ワークショップ 【関連事業】認可保育所整備事業(事業主体：社会福祉法人)</p>
<p>・整備方針3【災害時における避難施設の整備及び備蓄の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が発生した際に避難所として十分な機能を兼ね備えた防災拠点を整備する。 東日本大震災を教訓として、食料品備蓄や防災資機材の配備を強化するとともに、断水時への備えとして耐震性貯水槽を整備する。 	<p>【基幹事業】高次都市施設：(仮称)南部コミュニティセンター整備事業(再掲) 【基幹事業】地域生活基盤施設：備蓄倉庫整備事業 【基幹事業】地域生活基盤施設：耐震性貯水槽整備事業</p>
<p>その他</p> <p>コミュニティセンター整備後は、施設を町の避難所に指定するとともに、一体的に整備する多目的広場を一次避難場所として位置付ける。</p>	

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	宮城県	市町村名	大和町	地区名	もみじヶ丘・杜の丘地区	面積	124.5 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

- 目標1: 日常における町民相互の交流を推進しながら、良好な地域コミュニティの形成を図る。
 目標2: 子どもから高齢者までの誰もが安心して暮らせ、安全で災害にも強く、より快適で住み良い居住環境を整備する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

まちづくりの経緯及び現況

- 本町は、これまで農業と工業を基幹産業とする農工併進のまちづくりを目指し、仙台北部中核工業団地をはじめ、大和流通・工業団地、大和インター周辺流通団地、大和リサーチパークなど、大規模な工業用地、流通業務用地の整備を積極的に進めてきており、近年は、製造業を中心に企業立地が順調に進むとともに、国内大手自動車メーカーが本町を含む周辺地域を製造拠点と位置付けたことで、運送業などの関連業種も含めた自動車産業の集積が加速している。
- 本計画区域は、仙台市に隣接する町南部に位置しており、主に仙台市内への通勤圏内として居住ニーズも高く、企業の進出と相まって、近年は転入者の受け入れ先として町の人口増加を牽引する地域となっており、区域内の人口は、平成25年3月末で6,475人と町人口の1/4を占めるほどに達し、5年前の同時期と比較した人口増加率は28%増を示している。
- 本計画区域は、「もみじヶ丘」、「杜の丘」の2つの住宅団地で構成するものであるが、団地の造成時期は大きく異なることから、居住者の年齢構成にも差が生じているとともに、町外からの転入者の割合も高く、団地間を超えた町民同士の交流や地域内のコミュニティ活動の活性化、地域としての一体感の醸成のための取組みが重要となっている。
- 東日本大震災を踏まえ、防災体制の拡充、防災対策の強化など、震災を教訓とした防災計画の見直しを行うこととしている。

課題

- 町民同士の日常的な交流やコミュニティ活動の活発化を図るための拠点施設の整備
 - 地域内にはサークル活動やコミュニティ活動を行うために必要な設備やスペースを有する拠点となる施設が無く、転入者も増加している中で、拠点施設整備に対する町民のニーズが高まっている。
- 子どもから高齢者までの誰もが安心して暮らせる居住環境の整備
 - 大規模工業団地を中心とした企業の進出が加速している中で、本地域は新規立地企業の従業者とその家族の移住先となっており、子育て環境や商業施設などの生活環境の充実と居住環境の一層の魅力向上が求められている。
 - もみじヶ丘地区は、宅地造成から20年以上が経過していることから、子どもが独立して夫婦のみの二人世帯も多くなるなど世帯構成の変化が見られ、団地内の高齢化が着実に進行しており、高齢者も安心して生活できるような周辺環境の整備を行う。
 - もみじヶ丘地区、杜の丘地区間における日常的な歩行者の往来や通学散歩など、アクセス利便性の向上を図るため、2つの団地をつなぐ歩行者動線を確保する。
 - 杜の丘地区には、子育て中の比較的若い世代の居住が進んでおり、保育所や児童館の利用ニーズが高い状態で推移しているものの、施設面が不足しており利用待機が発生している。
 - 乳幼児や児童の数が増加している杜の丘地区では、のびのびと遊べる公園が不足しているため、乳幼児も安心して遊べる広場の確保、年代に応じた多様な遊具の設置などの要望が多くなっている。
- 災害時における避難施設の整備及び防災力の向上
 - 東日本大震災時には、もみじヶ丘、杜の丘地区の指定避難所となる小野小学校には、多くの町民が避難して身を寄せたが、本地区は、今後も人口の増加が見込まれる地域であり、災害時における十分な対応を図るため、備蓄の強化及び避難施設の整備が求められている。
 - 地域の防災力を高め、災害に備えるため、地域防災訓練や要援護者情報の把握、自主防災組織の強化など、町民が主体的に取り組める活動を推進する。

将来ビジョン(中長期)

大和町の第4次総合計画では、「元気なまち」、「安心なまち」、「便利なまち」を町の将来像に掲げ、その実現のために重要度や必要性の高い11の施策群を重点プロジェクトに位置づけている。プロジェクトの1つである「地域ふれあい・交流プロジェクト」は特色ある伝統芸能・祭りの継承や子どもたちと高齢者の世代間交流を通じ、町民相互のふれあい・交流活動の活発化やこうした活動の拠点となる場づくりを進め、地域コミュニティの充実を図ることとしており、人口増加が見込まれる南部地域への交流活動の拠点となるコミュニティセンターの整備を計画している。

また、都市計画マスタープランにおいても、南部地域は、仙台市に隣接する立地条件を活かしながら、職・住・学が共存する活力ある快適な都市の形成を図ることを目標として、引き続き良好な居住環境の維持、充実を図ることとしている。

目標を定量化する指標

防災倉庫・耐震性貯水槽

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
居住人口	人	住民基本台帳に基く計画区域内の居住人口	住み良い居住環境整備、生活利便性の向上を図ることで、さらなる域外からの流入増加を図り、居住人口の増加を目指す。	6,475	H24	6,928	H30
コミュニティセンターの利用者数	人/年	コミュニティセンターの利用者数	コミュニティセンターの整備により、町民同士の交流や町民参加によるまちづくりを推進するとともに地域内における多様なコミュニティ活動の活発化を図る。	0	H25	18,000	H30
公園利用満足度	%	住環境整備のための満足度調査に基く満足度(満足度調査における「利用している公園の全体的な満足度」に関して、「満足」、「まあまあ満足」、「普通」と回答した人の割合)	公園の園路広場、遊具、照明灯等の再整備による年代に応じた利用促進を高め、コミュニティの活性化を図る。	54.9	H25	60.4	H30

都市再生整備計画の区域

もみじヶ丘・杜の丘地区(宮城県大和町)

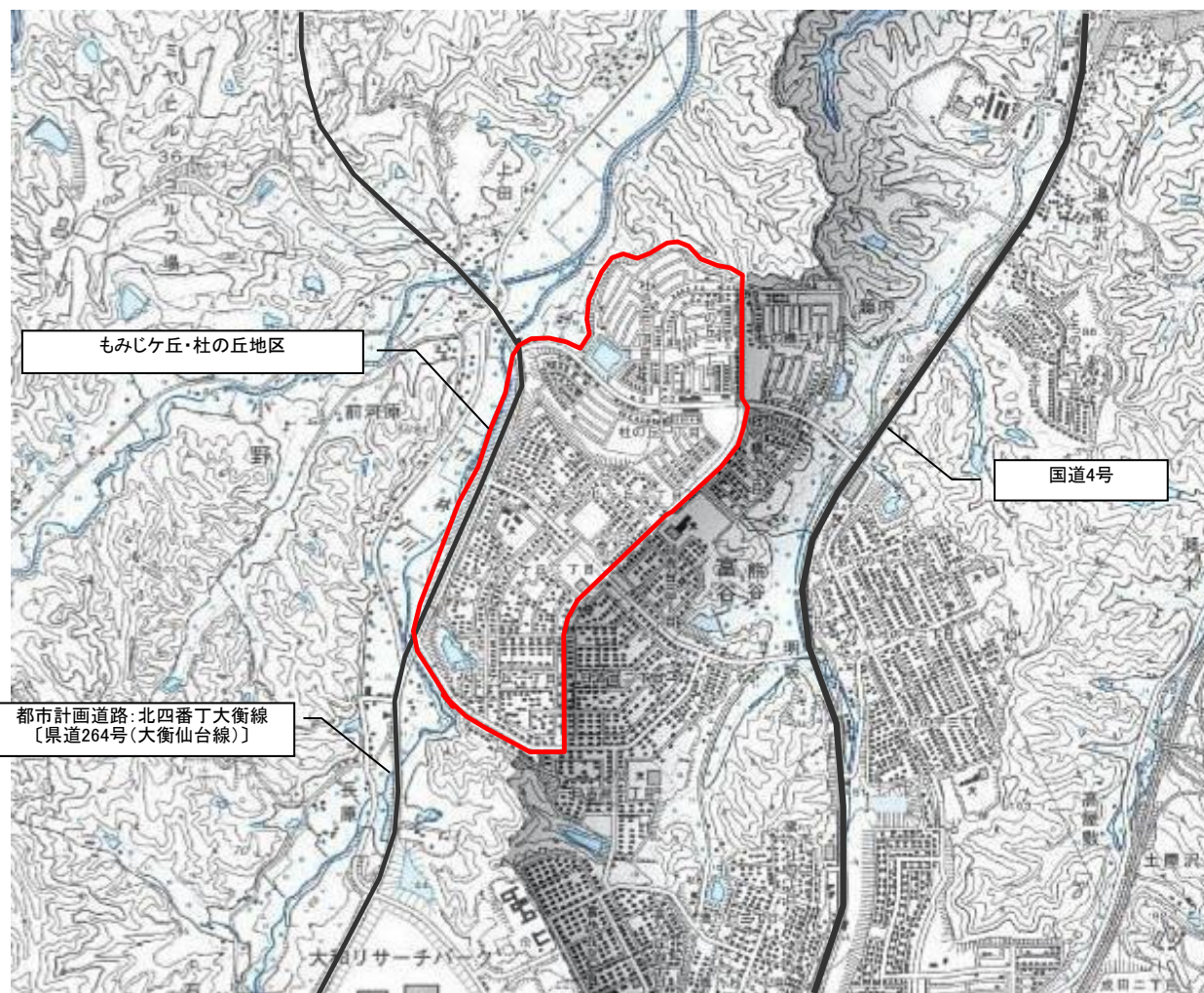
面積

124.5 ha

区域

大和町もみじヶ丘一・二・三丁目、大和町杜の丘一・二・三丁目

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



もみじヶ丘・杜の丘地区(宮城県大和町) 整備方針概要図

目標	1 町民同士の交流促進とコミュニティ活動の活発化を図るための拠点づくり	代表的な指標	居住人口 (人)	6,475 (24年度)	→	7,000 (30年度)
	2 子どもから高齢者までの誰もが安心して暮らせる住環境の創出		コミュニティ活動件数 (件/年)	1,365 (24年度)	→	2,500 (30年度)
	3 災害時における避難施設の整備及び備蓄の強化		公園利用満足度 (%)	54.9 (25年度)	→	60.4 (30年度)

